



## 2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年6月11日

上場会社名 株式会社ノースサンド 上場取引所 東  
 コード番号 446A URL <https://www.northsand.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長 CEO（氏名） 前田 知紘  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 CFO（氏名） 小久江 省隆（TEL）03(6263)0452  
 コーポレート本部長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2027年1月期第1四半期の業績（2026年2月1日～2026年4月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	8,856	—	1,809	—	1,815	—	1,337	—
2026年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	19.39	18.64
2026年1月期第1四半期	—	—

（注）1. 2026年1月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年1月期第1四半期の記載及び2027年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は2025年9月8日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っております。2026年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	22,251	17,793	80.0
2026年1月期	21,861	16,455	75.3

（参考）自己資本 2027年1月期第1四半期 17,793百万円 2026年1月期 16,455百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年1月期の業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,493	47.0	8,630	55.6	8,647	57.8	6,405	58.3	92.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年1月期1Q	69,000,000株	2026年1月期	69,000,000株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	—株	2026年1月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年1月期1Q	69,000,000株	2026年1月期1Q	—株

- (注) 1. 2026年1月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年1月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。
2. 当社は2025年9月8日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っております。2026年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数(自己株式を含む)」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

当社は、2026年6月11日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。また、当日配布する決算説明会資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、米国政権による貿易政策や中東情勢、為替の変動といったリスク要因により、依然として不透明な状況が続いております。このような環境下において、競争力強化や成長戦略の実現に向け、生成AI等の先端技術の活用を含む業務改革に取り組む企業が増加しており、これを背景としてコンサルティング業界への需要は堅調に推移すると見込まれます。

このような経済状況の下、当社では新規コンサルタントの人材獲得が順調に進んだことに加え、引き続き高稼働率を維持することができた結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は8,856百万円、営業利益は1,809百万円、経常利益は1,815百万円、四半期純利益は1,337百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、17,348百万円となり、前事業年度末に比べ、1,249百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金1,404百万円の減少、売掛金292百万円の増加によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、4,903百万円となり、前事業年度末に比べ、1,639百万円増加いたしました。これは主に、敷金及び保証金1,655百万円の増加によるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、3,831百万円となり、前事業年度末に比べ、903百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等718百万円の減少、流動負債のその他に含まれる未払消費税等324百万円の減少によるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、626百万円となり、前事業年度末に比べ、44百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金54百万円の減少、リース債務9百万円の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、17,793百万円となり、前事業年度末に比べ、1,337百万円増加いたしました。これは、利益剰余金1,337百万円の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の業績予想については、2026年3月13日付で公表いたしました「2026年1月期 決算短信」の内容から変更はありません。

なお、本資料に記載した業績予想等は、本資料発表日現在にて入手可能な情報をもとに、当社が合理的と判断した一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因の変化等によって予想数値とは異なる可能性があることにご留意ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,602	13,198
売掛金	3,167	3,459
その他	839	702
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	18,598	17,348
固定資産		
有形固定資産	654	736
投資その他の資産		
長期前払費用	127	29
敷金及び保証金	2,268	3,924
繰延税金資産	204	204
その他	8	8
投資その他の資産合計	2,609	4,166
固定資産合計	3,263	4,903
資産合計	21,861	22,251

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	593	698
1年内償還予定の社債	20	10
1年内返済予定の長期借入金	240	233
リース債務	23	28
未払金及び未払費用	858	772
未払法人税等	1,253	535
賞与引当金	13	30
その他	1,732	1,522
流動負債合計	4,735	3,831
固定負債		
長期借入金	361	307
リース債務	89	99
資産除去債務	218	220
固定負債合計	670	626
負債合計	5,406	4,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	4,734	4,734
利益剰余金	7,003	8,341
株主資本合計	16,455	17,793
新株予約権	0	0
純資産合計	16,455	17,793
負債純資産合計	21,861	22,251

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	8,856
売上原価	4,452
売上総利益	4,404
販売費及び一般管理費	2,595
営業利益	1,809
営業外収益	
受取利息	10
その他	1
営業外収益合計	11
営業外費用	
支払利息	2
社債利息	0
為替差損	1
その他	0
営業外費用合計	5
経常利益	1,815
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	1,815
法人税等	477
四半期純利益	1,337

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	41百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社の事業は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。